

第106回
同志社グリークラブ
定期演奏会

▽ GleeClub

2010年12月19日(日) 14:30開場 15:00開演
同志社大学寒梅館ハーディーホール

Doshisha College Song

Words by W.M. Dorris
Music by Carl Wilhelm

One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.
Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

Still broader than our land of birth,
We've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater, sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha, and Brotherhood!



同志社グリークラブ
幹事長
西田拓也

御挨拶

本日はお忙しい中、第106回同志社グリークラブ定期演奏会にお越しくださいまして誠にありがとうございます。

今年で106回目となる同志社グリークラブ定期演奏会ですが、絶えることなくここまで続いてきたのは先輩方の「生き様」が脈々と受け継がれているからだと思います。どのOBにお会いしましても、誰もが現役の頃の活動に誇りを持っていらっしゃいます。それはなぜか？私は、グリークラブでの自分の生き様に誇りを持っているからだと思います。人が人を作るとはよく言いますが、先輩方の生き様は目に焼き付いて離れないものです。その生き様を目指して追いつこうとする、または逆に「こうはなりたくないからこうしたい」という意志がグリークラブを動かしていると思うわけです。私が見てきた先輩方に私自身は追いつけていないように思いますが、自分の理想を自分に嘘をつくことなく、実現できるよう、今宵のステージで後悔のないよう、精一杯演奏したいと思います。

最後に私達現役を見守って下さっている先輩方、音楽を高めて下さった先生方、私達を支えて下さっているすべての方々に変更して深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

我々現役の一年間の集大成を最後の一音までお楽しみ下さい。



学校法人同志社
総長
大谷 寛

第106回同志社グリークラブ定期演奏会が、同志社大学寒梅館ハーディーホールにおいて盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

ご案内のとおり、同志社グリークラブは、1904(明治38)年の創部以来の歴史と伝統を有し、常に精力的に合唱活動を行ってきた同志社きっての名門クラブであります。

今年度もすでに、第59回東西四大学合唱演奏会への参加や第65回関西合唱コンクールでの金賞受賞など積極的な演奏活動を展開しているところです。さらに、学内の様々な式典においても素晴らしい演奏を披露しており、今や、同志社大学にとって欠かすことのできない存在であり、その活動に総長として心から敬意を表する次第です。

本日の演奏会においても、創部106年の歴史と伝統が、力強く心地よいGleeful Mood をかもし出し、ご来場の皆様に感動を与えてくれるものと確信しております。

世界平和と安寧を希求する若人達の演奏が、ご来場の皆様の希望と幸福に満ちた新たな年へのプレリュードとなりますことを心から祈念いたします。



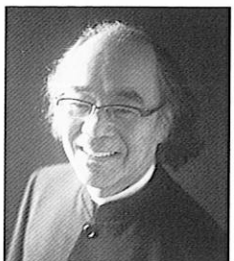
同志社大学
学長
八田 英二

このたび、第106回同志社グリークラブ定期演奏会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

同志社グリークラブは今年で創部106年目を迎える、長い歴史と伝統を持ったクラブです。また、同志社大学を代表するクラブとしても、様々な場において活躍しています。最近では、関西合唱コンクール金賞、全同志社メサイア演奏会出演など、精力的な活動を行っております。

もちろん、このような輝かしい活動の裏には、日々の地道な努力が必要不可欠です。本日は、日頃の成果を存分に発揮し、素晴らしい歌声を披露していただきたいと思えます。そして、聴衆の皆様にも夢や感動をお届けすることができれば、これに勝る喜びはございません。ご来場いただきました皆様には、部員の意気込みと情熱が伝われば幸いに存じます。

最後となりましたが、お忙しい中ご来場いただきました観客の皆様をはじめ、常日頃より部員の活動を支えていただいております諸先輩ならびに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。本日の演奏会の成功と同志社グリークラブの益々の発展を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



同志社グリークラブ
第31代学生指揮者
(社)全日本合唱連盟
理事長
浅井 敬壹

第106回同志社グリークラブ定期演奏会開催おめでとうございます。

私は、今回挨拶文依頼の封筒をいただき、封を開け、チラシを見た瞬間、あっと驚きました。客演指揮者に藤井宏樹先生、なんと客演ピアニストに寺嶋陸也先生がお越しくださる。こんなことが本当にあるのか。先生方、本当に有難うございます。メンバーの皆さん、幸せですね。どうか、お二人の先生の音楽を精一杯吸収してください。

私は今年、チリの落盤事後の後、歌声がいかに人間にとって大切なものであるかを、あらためて知りました。地底に生存する人々から地上へ最初に届いたものは歌声だったそうです。それに応えて地上から地中へ届けられたものもまた、歌声でした。歌うことで生きる力の湧く生命。それが人間なのだ、と。

どうか今日のステージ、音楽することの喜びを体いっばいに感じ、我々同志社グリークラブが生んだ、伊東恵司先生の指揮のもと、そして、森崎公平第78代学生指揮者のもと、客席と一体となる素晴らしい音楽が響きわたることを願って、私のご挨拶いたします。

演奏会の成功を心から願っています。



同志社グリークラブ顧問
岸 基史

本日は第106回同志社グリークラブ定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

今年、創立135周年を迎え変容を続ける同志社の中で、同志社とともに歩んできたグリークラブも変化を続けています。しかし、同志社グリークラブの根底に受け継がれている、積極的に活動する不変の精神は不変のものです。様々な困難があつたであろう106年の長い歴史の中で活動を続けてこられたのはこの先輩から後輩へ脈々と受け継がれてきた精神があつたからだと思えます。

もちろんこの精神は、現役グリーメンの頑張りのみでなく、ご指導いただいている先生方、OBなど様々な方々のご援助、そして何より今ご来場なさっている皆様方声援によって成し遂げられている賜物でしょう。

この同志社グリークラブが約40年ぶりに学内で定期演奏会を行います。ご来場の皆様には今日の演奏をこころゆくまでお楽しみいただきたいと思えます。そして、今後の同志社グリークラブへの一層のご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



同志社グリークラブOB会
理事長
森島 敏夫

同志社グリークラブの第106回定期演奏会が、ここ同志社大学寒梅館ハーディーホールにて開演する運びとなった。現役諸君の伸びやかな歌声と美しいハーモニーがキャンパスに響きわたることを心から願ってやまない。

今出川校地内の素晴らしいホールにて、プログラムに宗教曲やクリスマスソングが含まれ、かつ現在の日本合唱界にて望める最高の指揮者・作曲家(ピアニスト)・編曲者が協演して下さる演奏会となれば、同志社グリー冥利につきる定期演奏会と言えよう。

実は、同志社グリークラブが学内にて定期演奏会を開催するのは、昭和44年(1969年)の栄光館以来である。実に42年ぶりとなる。それ以前も京都会館で開催してきた歴史が10年程あるから、栄光館を定期演奏会場として長くお借りしてきた昭和33年(1958年)まで学内定期演奏会は遡ることになる。

グリークラブは、半世紀にわたり非日常の学外空間で、若い命を爆発させるような非日常の時間を刻む男声合唱を披露してきたことになる。この高揚感が残滓となって一生音楽を愛してきたのが千数百名の卒団生であり、同志社グリークラブ100余年の歴史である。

今宵は歌い慣れたホームグラウンドであるが、今まで同様に聴衆の皆様心に感動をもたらし、学生諸君が自らの心にも一生燃えさかる熱情を点灯させる演奏会であってほしい。

Doshisha College Song

作詞：W.M.Vories
作曲：Carl Wilhelm

1st Stage Maarjamaa ballaad

詩：Jaan Kaplinski
曲：Veljo Tormis
指揮：伊東恵司

2nd Stage 祈りの風景 ~現代の宗教音楽から~

Kyrie
Gloria
Si quaeris
Ave Regina Coelorum
Ave Maria
Golgatha

指揮：伊東恵司

3rd Stage 男声合唱組曲『白き花鳥図』

I. 黎明
II. 数珠かけ鳩
III. 白牡丹
IV. 鮎鷹
V. 老鷄
VI. 白鷺

詩：北原白秋
曲：多田武彦
指揮：森崎公平

- INTERMISSION -

4th Stage X'mas Songs

荒野の果てに~天には栄え
まきびとひつじを
Last Christmas
クリスマスの夜に
The Christmas Song

編曲：松波千映子
指揮：伊東恵司
ピアノ：松井 萌

5th Stage 『水と影、影と水』 ~男声合唱とピアノのために~

1. 馬に乗ったドン・ペドロ 池のあるバーレスク風ロマンス
2. グラナダと1850
3. スペイン警官隊のロマンス

原詩：F.G. ロルカ
訳詩：長谷川四郎
作曲：寺嶋陸也
指揮：藤井宏樹
ピアノ：寺嶋陸也



指揮者 伊東恵司 (いとう けいし)

京都市在住。'90年同志社大学を卒業(ポストモダン芸術論を専攻)。同志社グリーンクラブ学生指揮者として福永陽一郎に師事する。90年以降合唱指揮者として活躍。'99-'09までに出場した全日本合唱コンクールでは「なにわコラリアーズ」の10年連続金賞を始め3つの合唱団で15個の金賞を受賞。宝塚国際室内合唱コンクール20周年記念大会では海外の団体をおさえ総合グランプリを獲得している。

現在は、全国各地で審査員や合唱指導を引き受けるほか、「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル(京都)」「コーラスめっせ(大阪)」「オール新作コンサート」等の新規合唱フェスティバルの企画や主催、市民参加型合唱劇のプロデュース、学生合唱団指導者合宿の企画、児童合唱(みやこキッズハーモニー)の創設、世代間を取り結ぶ「京都のわらべ歌プロジェクト」を企画する等、合唱に関する多彩な仕掛けを行ない、全国から大きな注目を浴びている。

大阪府・京都府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会関西支部事務局次長、21世紀の合唱を考える合唱人集団「音楽樹」会員。

ホームページは<http://www.yumemirusakananoabuku.jp/>



合唱指揮者 藤井宏樹 (ふじい ひろき)

山梨県出身。

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。

現在、全9団体(アカシアコーラス、樹の会ユースクワイア〜奏(かなみ)〜、女声合唱あやのね、合唱団ゆうか、クールオルタンシア、女声アンサンブルJuri、Nekkomale choir、はるか、山梨大学合唱団)を有する「樹の会」、Ensemble PVDの音楽監督を務めるほか、合唱団「弥彦」の講師としても活躍。

全日本合唱コンクールでは12回の金賞を、海外の合唱コンクールでも1位、2位を受賞するなど、高い評価を受ける。

近年では全日本合唱コンクール等の審査員や、各地で行われる合唱講習会の講師、現代作曲家への委嘱活動、合唱人集団「音楽樹」主催のTokyo Cantat等、各種コンサートの企画も積極的に行っている。

また、ラトビア室内合唱フェスティバル、フランスのヴェゾン・ラ・ロメヌ合唱フェスティバル、モルバン・オータン音楽祭、イタリアのレニャーノ音楽祭など海外に招聘される機会や、オーケストラとの共演も多く、東京交響楽団などととも、口短調ミサ、メサイア、モーツァルト・レクイエム、フォーレ・レクイエム等数多くの演奏を指揮し、好評を博す。

現在、21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」幹事。東邦音楽大学特任准助教授。国立音楽大学非常勤講師。JCDA日本合唱指揮者協会会員。

エリザベト音楽大学付属室内合唱団エリザベトシンガーズ指揮者。



ピアノ 寺嶋陸也 (てらしま りくや)

1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんやく座での演奏や、97年東京都現代美術館でのボンビドー・コレクション展開催記念サテ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタンゲルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲のほか、ピアノの演奏や指揮、音楽祭の音楽監督など、活動は多方面にわたる。

オペラ「ガリレイの生涯」「末摘花」、合唱ファンタジア「オホホ鳥奇譚」「樹の奇・危・嬉〜ピカソくんとうたおう」、カンタータ「伊邪那岐・伊邪那美」、ヴォードヴィル「タバコの害について」、「尺八・二十絃等と管弦楽のための協奏曲」、オーボエ・三味線と打楽器のための「異郷の景色」、古代復元楽器のための「大陸・半島・島」、朗読と箏、室内管弦楽のための「貝の火」など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD-9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VICS-61092)、「寺嶋陸也 合唱音楽の夕べVol.2」(NARC2053-4)その他室内楽や歌曲のピアノなど、多くのCDがある。

ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>



ピアノ 松井 萌 (まつい もえ)

京都市立音楽高等学校、同志社女子大学卒業。新島賞受賞。京都市立芸術大学大学院修士課程修了。仙田緑、鶴田裕子、古新薫、阿部裕之、谷千鶴、松田康子の各氏に師事。2001年京都ピアノコンクール本選D部門銅賞、第2回大阪国際音楽コンクールピアノ部門高等学校の部奨励賞、第11回日本クラシック音楽コンクール兵庫地区本選高校の部ピアノ部門好演賞、第7回シヨパンの会(祝・21世紀)コンクールピアノ演奏部門Cクラス奨励賞受賞。第4回かやぶき音楽堂デュオコンクール第2位。2009年青山音楽記念館にてソロ・リサイタルを開催。京都音楽家クラブ、日本音楽表現学会会員。京都橋大学TA、平安女学院大学嘱託講師(ピアノ)。



編曲者 松波千映子 (まつなみ ちえこ)

1978年東京生まれ。4歳よりピアノを始める。東京放送児童合唱団(現NHK東京児童合唱団)に10年間にわたり在籍、そこでの多様な活動体験に触発され、和声・作曲の勉強を始める。1997年、桐朋学園大学作曲理論学科に入学。作曲を佐藤公一郎、鈴木輝昭、ピアノを荻野千里、三瀬あけみ、各氏に師事。2002年より奨学金を得てBerklee College of Music(アメリカ・ボストン)に入学、ジャズ作曲と映画音楽を専攻し、多様なスタイルの作曲技法や理論、映像のための音楽やコンピューターによる音楽制作等を学ぶ。2004年、Diploma in Filmscoringを得て卒業。帰国後は、映画音楽やコンサート制作における現場の最前線において研鑽を積み、これまでに数多くのプロジェクトに携わっている。作・編曲、オーケストレーションを中心に、精力的に活動中。2010年よりアメリカ、サンディエゴ在住。



ヴォイストレーナー 北村敏則 (きたむら としのり)

京都市立芸術大学声楽専攻卒業。同大学院修了後ウィーン留学。音楽学部賞及び大学院賞受賞。第2回日本シューベルト協会(J.S.G)国際歌曲コンクール第1位及び聴衆審査特別賞受賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第1位及びアダ・ヴァルバ賞受賞。第1回青山音楽賞、京都市芸術新人賞受賞。現在、京都市立芸術大学講師、関西二期会会員、日本シューベルト協会会員。



ヴォイストレーナー 石原祐介 (いしはら ゆうすけ)

私立崇徳高校在学中にグリーンクラブに入部、合唱を始める。京都産業大学在学中はグリーンクラブに所属し、学生指揮者を務めた。その後、京都市立芸術大学、同大学院音楽研究科声楽専攻を卒業、修了。卒業時に音楽学部賞を受賞。世界合唱連合(IFCM)主催 World Youth Choir 1997~1999 日本代表メンバー、World Chamber Choir 2009 日本代表メンバー。第21回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第2位。声楽を故灘井誠、山口はやとの各氏に、合唱指揮を故吉村信良氏に師事。現在、神戸市混声合唱団に所属。



第78代学生指揮者 森崎公平 (もりさき こうへい)

1989年1月12日生まれ、大阪府茨木市出身。愛知県海部郡在住。私立名古屋高校を経て、同志社大学文学部国文学科に入学。2010年1月に当団の第78代学生指揮者に就任。

本人は小柄であることを気にしているようだが、類い稀なる博識と卓越したピアノ演奏を駆使したその練習においては、まさに頼れる「大きな背中」を部員に感じさせる。忙しい学業に加え、練習後も部員の補習に付き合い連日終電で帰宅するにも関わらず、翌日には楽譜の分析や会議の資料作成を済ませており、どこにそんな時間があるのか?というグリーンメンの素朴な疑問は常に消えない。

指揮者の枠をこえて「趣味」と称して楽譜の製本や各種チラシの印刷等まで華麗にこなすが、細部にこだわりすぎて周囲から呆れられることもしばしば。

そんな細かさや知性に支えられた指揮によって導かれる演奏に、どうぞご期待下さい。

Maarjamaa ballaad

詩：Jaan Kaplinski 曲：Veljo Tormis 指揮：伊東恵司

自国が占領され、明日から占領した国の言葉を話す、自国の文化が否定され、占領した国の文化が移植される・・・このことが民族のアイデンティティをいかに喪失させるか、それは島国日本に住む私たち、特に戦争を経験していない我々の世代の人間にとって実感することは非常に難しい。作曲家 Veljo Tormis は 1930 年生まれ、作詩者 Jaan Kaplinski は 1941 年生まれである。またソ連のエストニア侵攻は 1940 年の出来事である。以上をふまえると、生まれたときにはすでにソ連に母国を占領されていた人間が書いた詩に、占領され、まさに国家がなくなる瞬間を生きた人間が曲をつけ、できあがったのがこの Maarjamaa ballaad である。

曲中で Veljo Tormis は母国の言葉・文化が奪われたことへの絶望感、無念さを見事に表現している。特に詩の冒頭の文章「Ei jõua! (もう生きられない)」が曲の随所に配されており、そのひとつひとつが異なる表情をもっている。

本日の同志社グリーンクラブ第 106 回定期演奏会のオープニングステージとして、ご来場のみなさまにこの曲をお届けいたします。

以下に楽譜に印刷されていた曲の解説の訳を掲載いたします。

(森崎公平)

この「マリアの国のバラッド」では、13 世紀におけるエストニア独立戦争の悲劇が、ソ連によるエストニアの占領と結び付けて描写されている。ソ連のエストニア侵攻では、エストニアの独立維持は絶望的だった。十字軍は、侵略・征服した国を聖母マリアに捧げたという。『マリアの国』とは、被侵略国と同義である。

この詩の中で、言及されている他の固有名詞はみな、古代のエストニアの州の名である。

(白石和之訳)



Maarjamaa ballaad

Ei jõua!
もう生きられない!

Ei jõua Sakala nõtkub variseb Nurmekund
サカラの郡は傾き、ヌルメクンドが陥落する。

pea kohal söönud kaarnaid jalge all nõgist lund
頭上では血肉を貪るカラスが飛び回り、汚い煤けた雪が足元を埋め尽くしている。

Rävala kõrgelt kantsilt silmisse kilgendab merd
ラバラの高い防波堤の上で、海を映したおまえの目は輝いている。

liig suur ja võõras linn ja sina liig võõrast verd
街はあまりに大きく…ひたすらに冷たい。異国の血であふれ、居場所が失われていく。

ja Oandi sa oled Otepääl seisatud voogaval teel
オァンディ人の血をひくものでさえ、今は侵略されたオテパの地で、苦しみ悶えているのだ。

mäel taovad vasarad kive ja kostab võõras keel
鎚(ソ連)が石(エストニア)を砕き、見知らぬ言葉がなだれ込んでくる。

üle mere ja latvade näed all kaovad nimed ja maad
海と、森の梢の向こうでその名と国土が消えようとしているのがわかるか。

vaata Alutagust ja Vaigat kuni veel saad
アルタグスとヴァイガが減び行く様を目に焼き付けろ。

üks kotka kiljatus ühe ühepäeviku lend
鋭く叫びをあげたワシ(ドイツ)の前では、力なく飛び立つカゲロウ(昔のエストニア)はあまりに無力だ。

kui unustad laulu ja keele kas mäletad iseend
祖国の歌と言葉を失ったものたちが、果たして自我を保ち続けられるのか、いや、絶対にできないだろう。

oota veel järved kaovad ja rannik kerkitab veest
いや、あきらめるのはまだ早いかもしれない。湖が干上がり始め、海中から岸がせり上がってきている。

soolane vesi sööb silmad peast ja südame seest
目と心が潮風に抉られ、涙が溢れて来るだろう。

soolase vee põhjas magad ülal tühiseb jää
お前は海の底で眠り、氷がその上でガラガラと音をたてる。

piiramismasinaid veetakse Saarde üle su pää
海底で眠るおまえのはるか上では、氷塊ぶつかり合っている。
大量の兵士たちがサールマーへ引きずり込まれる。

Ei jõua...
もう…生きられ…ない…

(白石和之訳)

祈りの風景 ～現代の宗教音楽から～

指揮：伊東恵司

「祈りの風景」というタイトルのもとに、現代という時代にふさわしい作曲家の宗教曲（時代と地域を散らして）を6曲集めて演奏してみることにいたしました。

「音楽が何のためにあるのか？」という問いに対しての一つの答えは「祈りのために」ということでもあるでしょう。ただし、いや、だからこそ「祈りの風景の形態や風景」は多様で多彩でもあるように感じます。ここで取りあげる宗教曲はいずれも随所にちりばめられた不協和音（いわゆる6度や9度等の微妙な音のぶつかりあい）によって新鮮な和音を生み、ロマンチズムにおぼれすぎない現代的な色合いが漏れる作品にも仕上がっています。こういった様々な和声の組み合わせは聞き手に一面的ではない複雑な印象を与えますが、考えてみれば、この「多面的な煌き」は現代という多様性をもった世界や、人間の内面の複雑性そのものと直接的に結びついているとも言えるのではないのでしょうか。そして、その「揺らぎ」そのものが宗教的な救済と信仰心と絶えず「呼吸」をし合っていることを物語っているようにも思います。

1. Kyrie / Sven-David Sandström (1942～、スウェーデン)

現代スウェーデンを代表する作曲家であり、リゲティやノアゴーの影響を受けながら無伴奏合唱作品も多数残している。不協和音とトーンクラスターの技法を用いながらも、やや甘くロマンティックな曲調を感じさせるのが特徴である。

2. Gloria / Kaj-Erik Gustafsson (1942～、フィンランド)

現代フィンランドの作曲家（オルガン奏者）として多数の合唱作品を生み出しているが、本作品は1979年の作品である「Missa A Cappella」より取りあげている。それぞれの声部は平明に書かれ、母音の長短（語感）を生かしたリズムがきらめきを生み、パートを上手く重ね合わせるにより多彩なハーモニーを生み出している。

3. Si quaeris / Francis Poulenc (1899～1963、フランス)

本作品はこれまでの5曲からはやや時代を遡る1959年の作品「Laudes de Saint Antoine de Padoue」の終曲である。Poulencの作風が確立した後の作品であり、和音が次々と移り変わるにより生まれるきらめきが美しい。

4. Ave Regina Coelorum / Vytautas Miškinis (1954～、リトアニア)

リトアニアの合唱指導者であり作曲家。多数の児童合唱曲や宗教曲を残している。ポピュラーソングを思わす平明なメロディーや軽いリズム感に肌触りのある宗教曲が特徴である。

5. Ave Maria / Lin Ming-Chieh (1982～、台湾)

本ステージでは最年少の台湾の若手作曲家である。16分音符が多用されるリズムカルな前半、後半部分と、情感豊かに歌われる中間部分の対比が見事である。

6. Golgatha / Emil Cossetto (1918～2006、クロアチア)

作品の大部分は合唱音楽であり、テキストは民族主義的かつ英雄主義的の多いとされる。作風はロマン主義的な調性的様式で、言葉によって喚起される劇的なコントラストを特徴とする。

(伊東恵司)

1. Kyrie

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

2. Gloria

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax
hominibus bonae voluntatis.
Laudamus te.
Benedicimus te.
Adoramus te.
Glorificamus te.
Gratias agimus tibi
propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus.
Rex caelestis(coelestis).
Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite Jesu Christe.
Domine Deus.
Agnus Dei.
Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi.
miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi.
suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris.
miserere nobis.
Quoniam tu solus sanctus.
tu solus Dominus.
Tu solus altissimus.
Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu
in gloria Dei Patris.
Amen.

3. Si quaeris

Si quaeris miracula.
mors, error, calamitas,
daemon, lepra fugiunt.
aegri surgunt sani.

Cedunt mare, vincula;
membra, resque perditas
petunt et accipiunt
iuvenes et cani.

Pereunt pericula,
cessat et necessitas,
narrent hi qui sentient,
dicant Paduani. Cedunt.

Gloria Patri, et Filio.
et Spiritui Sancto. Cedunt.
Ora pro nobis, beate Antoni.

Amen.

1. あわれみの讃歌

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

2. 栄光の讃歌

天のいと高きところで神に栄光がありますように。
そして地上では善意の人に平和がありますように。

私たちはあなたを誉め、
あなたを祝福し
あなたを拝し
あなたをあがめ
あなたの大いなる栄光のゆえに
あなたに感謝をさげます。
主なる神よ、
天の王よ、
全能の父なる神よ、
唯一の御子である主、イエス・キリストよ。

主なる神よ、
神の子羊よ、
父の御子よ。
世の罪を取り除いて下さる方よ、
私たちを憐れんで下さい。
世の罪を取り除いて下さる方よ、
私たちの願いを聞いて下さい。
父の右に座しておられる方よ、
私たちを憐れんでください。
なぜなら、あなただけが聖なる方だからです。
あなただけが主です。
イエス・キリストよ、あなただけがいと高き方です。

聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに。

アーメン。

3. もし奇跡を望むなら

もし奇跡を望むなら
死、迷い、災い
悪霊、死の皮膚病は去り、
病む人は癒されて立つ。

海難の苦しみは去り、
失われた肢体などを求め、
そしてそれを若者たちも
老人も取り戻す。

危険は消え去り、
感じる人々は述べる、
パドヴァの人々は
語り続ける。

栄光は父と子と
聖霊にあれ。
聖アントニオよ、我等のために祈りたまえ。

アーメン。

4. Ave Regina Coelorum

Ave Regina caelorum(coelorum).
Ave Domina Angelorum:
Salve radix, salve porta.
Ex qua mundo lux est orta:
Gaude Virgo gloriosa.
Super omnes speciosa:
Vale, o valde decora.
Et pro nobis Christum exora.

5. Ave Maria

Ave Maria, gratia plena:
Dominus tecum.
Benedicta tu in mulieribus.
et benedictus fructus
ventris tui, Jesus(Christus).
Sancta Maria, (mater Dei).
ora pro nobis (peccatoribus
nunc et in hora mortis nostrae).
Amen.

6. Golgatha

Hosianna gegrüßet.
Hosianna rufen wir.
wir grüßen dich o König
O Herr wir folgen dir
hosianna „Herr und König!“
Gekreuzigt!
Cruciate refen wir.
ans kreuz soll man ihn schlagen.
wir meinen diesen hier.
zu dem sie König sagen!
Cruciate!
Was sie auch immer riefen!
Wenn sie zu sammenliefen
Es kam zum gleichen Ende
Sie wuschen ihre Hände
O Herr! Hosianna, gegrüßet!
Cruciate, gekreuzigt!
Du gingst nach Golgatha,
ist hier der Weg zu Ende.
der Weg nach Golgatha.
dir bluten Haupt und Hände
Hosianna cruciate
Golgatha!

4. 幸いなるかな、天のお后様

幸いなるかな、天のお后様
幸いなるかな、天使たちの女王様。
幸いなる根よ、幸いなる門よ、
あなたによって世に光が差しました。
よるこんで下さい、栄光のおとめよ、
すべての女性に優る方よ。
幸あれ、おお、いとたたえるべき方よ、
私たちのためにキリストに祈って下さい。

5. めでたし、マリアよ

おめでとう、マリアよ、恵まれた方よ。
主はあなたとともにおられます。
あなたは女たちの中で祝福された方、
そして、あなたの子、イエス（キリスト）も
祝福されています。
気高いマリアよ、（神の母よ）
（罪深い）私たちのために、
（今も、死を迎えるときにも）祈って下さい。
アーメン。

6. ゴルゴダ

ホザンナ、
ホザンナ、私たちは呼ぶ。
ユダヤ人の王万歳
おお、主である、われらが王よ
われらはあなたに従います。
十字架につけよとわれらは叫ぶ。
われらはここで
われらが打ち付けるべき十字架を思い、
王に向かってこう言ったのだ。
「もしあなたが共に行くのなら
何と叫び続けるのか」

終わりの時はまもなく近づく
そして彼の手を洗うのだ。

汝が歩んだゴルゴダへの道は
終わりへの道
ゴルゴダへの道は汝の血塗られたこうべと手。

男声合唱組曲『白き花鳥図』

詩：北原白秋 曲：多田武彦 指揮：森崎公平

「白き花鳥図」の詩は北原白秋の詩集「海豹と雲」よりとられている。多くの研究者の指摘にあるように、当時の白秋の詩の傾向として「近代神の認識に到る、日本古神道の精神を此の近代を新たに再造すること」、また近代の幽玄体を、密かに薫醸しようとしたことが挙げられる。私が詩全体から受ける印象は、先学の研究成果から大きく外れることはない。具体的には近代以前に確かに存在した崇高たる精神、精神世界と白秋が生きた時代とのつながりを花鳥にかこつけて詠まれたものという印象である。

恥ずかしながら詩の解釈は私の不得手とするところである。わずかな感受性をフルに働かせて、以下のように各曲の詩を解釈してみた。

I. 黎明

昭和の時代の幕開け（「海豹と雲」は昭和4年発行）に本曲集の始まりをかけている。詩中「しのめ」は漢字では東雲と書き、闇から光へと移り変わる夜明け前に茜色にそまる空を意味する。また、沛然と降る雨の中を飛ぶ“白き鷺”の力強さを感じる曲である。終曲の「白鷺」と合わせて多田先生が意識的に配置されたように感じる。

II. 珠数かけ鳩

七五調の詩で、テンポのよい印象を受ける。その曲調から珠数かけ鳩の白と杏子の朱の色のコントラストがうかがえる。

III. 白牡丹

この作品は動と静のコントラストが美しい。前半で白牡丹を写實的に表現する。中間部において白牡丹をとりまく世界を描き、後半では「白牡丹、宇宙なり。」という。最後の和音はその宇宙を指すのであろうか。

IV. 鮎鷹

IIと同様五七調でまとめられテンポのよい曲。途中の短調は「生」に対するはかなさを表したもののか。（「鮎の若鮎」が特に哀愁を呼ぶ）詩中「鮎」は絹などの布地のつやを出したり、柔らかくしたりするために槌でたたき石または木の台のことであり、忘れ去った者に対する恨みを表徴する。

V. 老鷄

曲集のなかのピークはこの曲であると思う。「力よ、荒魂」の部分が白秋の詩の傾向を最も象徴的に表しているように感じる。「幾ばくも飛ばず落ちぬ」老鷄が曲を通して鮮明に描き出される。

VI. 白鷺

長調で始まるこの曲は白鷺の姿を動的に生き生きと表現する。中間部では短調を用いて空中にある白鷺を静的に表現している。それはあたかも自身の精神世界の中に生きる白鷺を描いているようである。後半はふたたび長調に戻る。「蓮の實を超えて立つなり」の上昇音形は本曲集を通して到達すべき境地に辿り着いたことの象徴であるように感じる。

（森崎公平）

I. 黎明

白き鷺 空に闘ひ、
沛然と雨はしるなり。

時は夏、青しののめ、
濛濛と雨はしるなり。

早や空し、かの蓮華色、
二塊の、夢に似る雲。

くつがへせ、地軸はめぐる、
凄まじき銀と緑に。

白き鷺空に飛び連れ、
濛濛と雨はしるなり。

II. 珠数かけ鳩

珠数かけ鳩はむきむきに、
落ちし杏をつつくなり。

しめりまだ乾ぬ土のうへ、
杏はあかし、そこここに。

珠数かけ鳩の度ましき、
脚にひろひぬ。飛び飛びに。

空に杏の葉はにほひ、
羽根に半の色涼し。

珠数かけ鳩は行き過ぎて、
あかき杏につまづきぬ。

III. 白牡丹

白牡丹、大き籠に満ち、
照り届む内紫、
豊かなり、芬華の奥、
とどろきぬ、開けき春に、

蝶は超ゆ、この現より、
うつら舞ふ麗長の影。
晝開けぬ。花びらの外、
歎かじな、雲の驕溢を。

白牡丹、宇宙なり。
また、薫す専らなる白、
この坐、ふたつなし、ただ。
位のみ、ああ、にほひのみ。

IV. 鮎鷹

鮎鷹は多摩の手鳥よ、
梨の果の半く切口、
ちちら、ちち、
白う飛ぶそな。

鮎の子は澄みてさばしり、
調布の瀧瀬のかみしも、
砧うち、
砧うつそな。

鮎鷹は初夜に眼の芽え、
夜をひと夜、あさりするそな。
ちちら、ちち、
鮎の若鮎。

水の色、香る泡沫
眉引のをさな月夜を
ああ、誰か、
影にうかがふ。

V. 老鷄

さわさわと起つ風の
音響けば、
鷄は羽ばたきぬ。
はたはた、ああ、はたはた、
白礮の、薬廠礮の
かがやく陽を目ざして。

鷄冠や、猛猛し
眼の後後、
尾羽、翼、はららぎぬ、
はたはた、ああ、はたはた、
岩根の、白羽蟻の
吹雪と舞ふ柱を。

力よ、荒魂
飛び搏くと、
勢ひ蹴るひと空や、
はたはた、ああ、はたはた、
光の、陽のしじまの
取たる輻輳すと。

凄まじ、身は重し、
青の夏を、
朶の古りし鷄を、
はたはた、ああ、はたはた、
すべなし、飛び羽うつと
いくばくも飛ばず落ちぬ。

VI. 白鷺

白鷺は、その一羽、
睡蓮の花を食み、
水を食み、
かうかうとありくなり。

白鷺は貫くて、
身のほそり煙るなり、
冠毛の拂子曳く白、
へうとして、空にあるなり。

白鷺はまじろがず、
日をあさり、おのれ啼くなり、
幽かなり、脚のひとつに
蓮の實を超えて立つなり。

X'mas Songs

編曲：松波千映子 指揮：伊東恵司 ピアノ：松井 萌

男声合唱のクリスマスソングは女声合唱や混声合唱のそれにくらべて多くなく、演奏機会が少ないのが現状である。

クリスマスソングには確かにどう頑張っても男声合唱とは相性の悪いものがある一方で、

男声合唱だけが作り出せるハーモニーにマッチするもの、

また男声合唱として歌ってみたいものもある。

今回は若手作曲家、松波千映子先生にお願いし、

すでに合唱曲にもアレンジされているようなポピュラーなものから、

ちょっと風変わりなものまで幅広く男声合唱としてアレンジ・作曲していただきました。

雄々しく、しかしお洒落でもある第4ステージをお楽しみください。

荒野の果てに～天には栄え

まきびとひつじを

Last Christmas

作詞・作曲：George Michael

クリスマスの夜に

作詞：みなづきみのり

作曲：松波千映子

The Christmas Song

作詞：M.Torme

作曲：R.Wells

荒野の果てに～天には栄え

荒野(あらの)の果てに 夕日は落ちて
妙(たえ)なる調べ 天(あめ)より響く
グローリア、イン エクセルシス デオ
グローリア、イン エクセルシス デオ

天にはさかえみ神にあれや
地にはやすき人にあれやと
み使いたちのたたる歌を
聞いて諸人共に喜び
今ぞ生まれし君をたたえよ
朝日のごとく輝き昇り
み光をもて暗きを照らし
土よりいでし人を活かしめ
尽きぬ生命を与うために
今ぞ生まれし君をたたえよ

まきびとひつじを

まきびとひつじを 守れるそのよい
たえなるみ歌は 天(あめ)よりひびきぬ
喜びたえよ 主イエスは生まれぬ
仰げばみ空に きらめく明星(あかほし)
よるひるさやかに 輝きわたれり
喜びたえよ 主イエスは生まれぬ

Last Christmas

Last Christmas, I gave you my heart
But the very next day, You gave it away
This year, to save me from tears
I'll give it to someone special

Once bitten and twice shy
I keep my distance but you still catch my eye
Tell me baby do you recognize me?
Well it's been a year, it doesn't surprise me

(Happy Christmas!) I wrapped it up and sent it
With a note saying "I Love You" I meant it
Now I know what a fool I've been
But if you kissed me now I know you'd fool me again

A crowded room, friends with tired eyes
I'm hiding from you and your soul of ice
My God I thought you were someone to rely on
Me? I guess I was a shoulder to cry on
A face on a lover with a fire in his heart
A man undercover but you tore me apart
Oooh Oooh
Now I've found a real love you'll never fool me again

A face on a lover with a fire in his heart
(Gave you my heart)
A man undercover but you tore me apart
Next year
I'll give it to someone, I'll give it to someone special

クリスマスの夜に

聞こえますか
鈴の音が

耳をすますと
気づくでしょう
誰かの鳴らす鐘の音が
雪のように降り注いでいることに
私たちの世界に等しく
音楽が降り注いでいることに

祈りましょう
世界の片隅から
願いましょう
遠い誰かの笑顔を
そして思い出しましょう
誰かがあなたのために祈ってくれたことを

世界にはどれくらいの涙が溢れているのでしょうか
どれくらいの争いや憎しみが残っているのでしょうか
温もりのない時を過ごしている人がどれくらいいるのでしょうか
私に出来ることは
祈ること
願うこと
思い出すること
想像すること
そして
夢見ること

鐘の音が聞こえてきたら
瞳を閉じてみましょう
世界が平安が訪れますように 少しでも
あなたに笑顔が戻りますように 少しずつ
そして
いつかその笑顔に出会えますように
私たちは鐘の音の下で繋がっているのですから
葡萄の樹のように

キャンドル揺れる静かな夜
粉雪の舞う微笑みの夜
瞳を閉じたたくさんの人の思いに満ちた素敵な夜

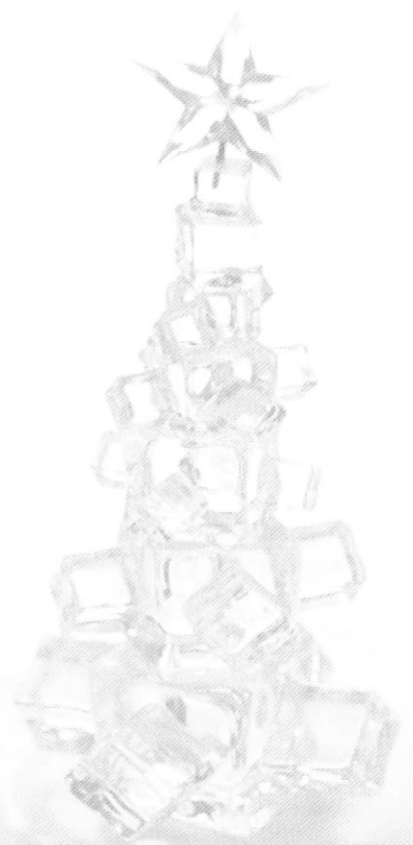
The Christmas Song

Chestnuts roasting on an open fire
Jack Frost nipping at your nose
Yule-tide carols being sung by a choir
And folks dressed up like Eskimos.

Everybody knows a turkey
and some mistletoe
Help to make the season bright
Tiny tots with their eyes all aglow
Will find it hard to sleep tonight.

They know that Santa's on his way
He's loaded lots of toys
and goodies on his sleigh
And every mother's child is gonna spy
To see if reindeer
really know how to fly.

And so I'm offering this simple phrase
To kids from one to ninety-two
Although it's been said
many times, many ways
Merry Christmas to you.



『水と影、影と水』～男声合唱とピアノのために～

原詩：F.G. ロルカ 訳詩：長谷川四郎 作曲：寺嶋陸也
指揮：藤井宏樹 ピアノ：寺嶋陸也

私はほとんど取り憑かれているといってもいいほどにスペインの詩人、フェデリコ・ガルシア＝ロルカ（1898～1936）の作品を熱愛している。彼の詩に私が作曲した合唱組曲は、いままでに7つ（混声5、男声1、児童1）にのぼり、組曲でない曲が3曲（うち1曲は未発表）ある。ひとつの組曲には3曲～5曲ほどがふくまれるので、合計では30曲ちかくの曲を、この詩人の日本語訳に作曲した。児童合唱のために書いた『こおろぎは歌う』という組曲だけは、自分で訳詞を作ったが、あとはすべて長谷川四郎の訳によっている。1987年作曲の『オレンジの木かげ』というのが、私が初めて発表した混声合唱曲であったが、それもロルカの詩に作曲した組曲である。ロルカは詩だけでなく、戯曲を多数残し、絵画にも秀で、作曲家としてもファリャの弟子で、スペイン民謡の採集やその編曲を行い、自らピアノも弾いてその録音を残すなど、多彩な芸術家で、自由を愛し、古い因習を憎む態度、また同性愛者であったことなどが右翼から嫌われ、スペイン内戦の中で暗殺された。

『水と影、影と水』は、2001年に早稲田大学グリークラブの委嘱で作曲、3曲からなり、2001年11月25日、作曲者の指揮、浅井道子のピアノで初演された。ロルカの詩は、第1曲と第3曲は、物語ふうドラマが展開する叙事詩、第2曲はそれとは対照的な抒情詩である。

第1曲『馬にのったドン・ベドロ』は、ロルカの代表的な詩集である『ジプシー歌集』（Romancero gitano）の中の詩による。「池のあるパーレスク風ロマンス」の副題があるこの詩は、憂鬱ななかにもどこか滑稽な味わいを持つ。騎士ドン・ベドロの物語と、その背景の「池」の描写との複線的な構成をとり、曲もそれにそって2つの対照的な部分が交代しつつ展開する。

第2曲『グラナダと1850』は、詩集『もろもろの歌』（Canciones）に収められた詩による。グラナダはスペイン、アンダルシア地方の都市で、ロルカはこの近郊で生まれ、グラナダに住み、そして1936年のスペイン内戦のなかでグラナダでファシストのファランへ党員に捕らえられ、近郊の山で射殺された。1850という数字は、1850年を意味しているようだが、何を指すのかはよくわからない。無伴奏で歌われる。

第3曲『スペイン警官隊のロマンス』は、前述の『ジプシー歌集』のなかで最も長大かつ重要な詩による。虐げられた民族ジプシーへの共感、ロルカの生涯を通じてのものだったが、その共感が、ここではフランコの独裁時代に治安維持の名目で暴虐の限りを尽くした「スペイン警官隊（Guardia Civil）」に対する激しい嫌悪、ひいては全ての暴力、戦争、人間性の対極にあるものへの憎悪となって表現されている。

（寺嶋陸也）

1. 馬にのったドン・ベドロ 池のあるパーレスク風ロマンス

<p>進んでいった ドン・ベドロ 小路づたいに ああ この騎士の なんと涙をながしたことが クツクなしの おとなしい馬にまたがり 彼は求めていった キスつきパン 窓という窓が 風にきいていた なにをなげく この騎士は？</p>	<p>子供が一人 岸辺にいて 二つの月を見て言う 夜ようて シンバルを！ 遠い町に ドン・ベドロ やってきた スギの本立にかこまれた すっかり金色の町 ベツレヘム？ 微風にこもる ハッカとマンネンロウ（*1） テラスも光れば 雲も光る アーチ型の門のわれ目から ドン・ベドロ 入っていく 老人が一人 名付親のおぼさんが二人 老人が一人 名付親のおぼさんが二人 銀のランプを手に 彼を迎えにやってくる ポブラ並木は言う だめだ 夜啼きウグイスは言う まあみてよう</p>	<p>第二の池 水の上の空中に 休んでいる言葉々々 水の冠りものには 鳥どもと炎の輪 アシのあいだには 失踪認知の証人たち 羅針盤のない東った夢が ギターの本材の中に 同じ小路たどり 老人が一人 名付親のおぼさんが二人 銀のランプを手に 幕地へ歩いていった 途中サフランの花の中に 彼らは見つける ドン・ベドロの馬の死体 なかぞらに口にもる 夕ぐれひそかな声 ガラスの角をうちくだく</p>	<p>不在の一角獣 燃えあがる火事 遠くの大都市 男が一人 泣きながら 土の内部へ入っていく 北には一つの星 南には一人の水夫 最後の池 水の上の空中に よこたわっている言葉々々 失われた声の混 涼くなった花の上で 忘れられたドン・ベドロ 遊んでいるよ ああ 雨蛙ども！</p>
---	---	---	---

2. グラナダと1850

ほくの部屋から
噴水がきこえる

ブドウのつるが一本
太陽の光線が一本
かれらはゆびさす
ほくの心臓のありどころ

八月の空
ただよう雲
ほくは夢みている
これは噴水の内部の
夢ではないと

3. スペイン警官隊のロマンス

彼らの馬は黒
蹄鉄までまっくら
マントに光
インキと蠟のシミ
鉛製の頭蓋骨
彼らに泥はない
人造皮の魂ひっさげ
街道をやってくる
セムシ（*2）で夜行性
どこだろうと
ひっかきまわす命令
暗いゴムの沈黙
こまかい砂の恐怖
気ままに通りすぎる
どろどろのピストルの
わけのわからぬ文学
頭の中に隠して

★
ジプシーの町
街角にはためく旗
月とカボチャ
さくらんぼのジャム
ジプシーの町
見たら誰が忘れよう？
悲しみとジャコウ（*3）の町
肉桂（*4）色の塔また塔

★
夜がやってきた
夜々の深い夜
ジプシーたち
如て眠っていた
太陽と矢のかずかず
戸をみんな叩いていた
重傷の馬一頭
ガラスの雄鶏
歌っていた
ヘレス・デ・ラ・フロンテラ（*5）
風は素っ裸で
不意打ちの街角まがる
夜 銀の夜 夜
夜々の深い夜

★
聖母と聖ヨセフ
彼らは失くした
カスターネット
彼らはさかす
ジプシーたち
ジプシーたちなら
そのカスターネット
見つけるだろう
聖母はやってくる
チョコレート色の紙製の
市長夫人のガウン
巴旦杏（*6）の首飾り
聖ヨセフは腕を動かす
絹のマントの中
あとにつづくベドロ・ドメック（*7）
三人のベルシヤのサルタン
半月は夢に見ていた
コウノトリの法視鏡（*8）を
旗印とランタン
平屋根になだれこむ
鏡の中ですすり泣く
腰の欠けた踊り子たち
水と影 影と水
ヘレス・デ・ラ・フロンテラ

★
ジプシーの町
街角にはためく旗
消せ きみの緑の明り
手がら者がやってくる
ジプシーの町
見たら誰が忘れよう？
海から遠くはなしておけ
髪をわける節なしに

★
二列縦隊前進
罫りの町めかけて
弾薬帯におそいかかる
ときわ本のざわめき
二列縦隊前進
織物の夜のヒダ
天は彼らに
拍車（*9）のずらり並ぶ
陳列棚だ

★
平気だ 平気だ
町は開いた
たくさんの戸 たくさん
警官四十名
略奪してまわる
いっせいに停止した時計々々
疑惑よけに
十一月のふりをした
壘の中のフランディ
風見鶏からおこった
叫び声の長びく飛び立ち
ひづめの踏んづける微風を
たたっ切るサーベル
逃げていく
ジプシーの婆さんたち
くらやみの街路
ねはけた馬
小銭のカメをかかえて
不吉なマントはかけのぼる
けわしい街路
あとにハサミどもの
すく消える渦巻

ベツレヘムの門に
ジプシーたち集まる
傷だらけの聖ヨセフ
娘っ子に
きょうかたびら（*10）着せてやる
夜つびでバチバチ音立てる
鋭くて頑固な鉄砲
聖母は星の唾液
子供らの傷にぬる
だが警官隊
火まきちらし前進
空想は効くて
裸のまま燃えつきる
カンボリオ家のローザ
切りとられた肉の乳房
盆にのせ
戸口に坐り すすり泣く
ほかの少女たち走る
黒い火薬のバラ
破裂する空中に
おさげ髪なびかせて
屋根々々みんな
土のあせ道と化した時
石の長い横顔みせ
夜明けはその肩をゆすった

★
ジプシーの町
炎がきみをとりまく時
沈黙のトンネル通り
警官隊は立ち去る

ジプシーの町
見たら誰が忘れよう？
ほくの顔にきみをさがせ
月と砂のたわむれ

（語注）

- *1 マンネンロウ
・・・シソ科の常緑小型灌木。香料に用いる。別名ローズマリー。
- *2 セムシ
・・・背骨が後方に盛り上がり弓状に湾曲する哺乳類。
- *3 ジャコウ
・・・ジャコウジカの角から採取される香料。
- *4 肉桂
・・・クスノキ科の常緑高木。樹皮は緑黒色。
- *5 ヘレス・デ・ラ・フロンテラ
・・・スペイン南西部の都市。シェリー酒の産地。
- *6 巴旦杏
・・・スモモの変種。実が大きく先がとがっているのが特徴。
- *7 ベドロ・ドメック
・・・ヘレスにあった居酒屋の名前。
- *8 法視鏡
・・・信仰から生まれる心中の喜び。うっとりするさま。
- *9 拍車
・・・ピストルのこと。
- *10 経帷子（きょうかたびら）
・・・死人に着せる衣。

同志社グリークラブ

顧問 岸 基史 技術顧問 伊東 恵司
 テノールヴォイストレーナー 北村 敏則 ベースヴォイストレーナー 石原 祐介
 専属ピアニスト 松井 萌

幹事長 西田 拓也 ステージマネージャー 中村 透 副指揮者 神谷 亮太
 内政 尾中 亮太 全同志社メサイア実行委員 加藤 祐樹 主務 村瀬 匡貴
 第78代学生指揮者 森崎 公平 松本 啓志 トップテノールパートリーダー 祝原 直正
 外政(京都) 中村 敏宏 副幹事長 松本 啓志 セカンドテノールパートリーダー 尾中 亮太
 外政(大阪兵庫) 中村 透 資料担当 祝原 直正 バリトンパートリーダー 西田 拓也
 外政(東西四連) 松下 夏海 内政サブ 神谷 亮太 ベースパートリーダー 森崎 公平
 会計 中西 重人 ホームページ担当 祝原 直正

TOP TENOR

4回生 祝原 直正(工・三島) 中村 透(社・川西明峰)
 3回生 松本 啓志(経・花園)
 2回生 白石 和之(法・千種) 田中 賢一(法・鷺谷)
 1回生 長谷川裕也(法・尼崎市立尼崎) 小椋 洋介(法・河瀬) 立林 怜(経・奈良女子大学附属)

SECOND TENOR

4回生 松下 夏海(商・福岡大学附属大濠) 尾中 亮太(工・木本)
 3回生 加藤 祐樹(商・近江兄弟社)
 2回生 川出正太郎(理工・名古屋市立北) 絹川 宣哉(経・同志社) 大田 駿介(経・洛南)
 渡辺 飛(経・須磨学園)
 1回生 松本 瞬(法・野田学園) 芝田 耕平(法・東住吉) 外山 英寿(理工・聖隷クリストファー)

BARITONE

4回生 中村 敏宏(商・足立学園) 中西 重人(工・洛南) 西田 拓也(工・青雲)
 3回生 神谷 亮太(法・名古屋市立向陽)
 2回生 池田 恭平(法・向陽橋香館) 村瀬 匡貴(文・華陽フロンティア)
 1回生 堀角 優一(理工・鞍手) 市川 耀(理工・津) 石川 明彦(法・藤枝明星)
 小松 佑史(理工・名古屋西) 奈須 浩泰(理工・延岡) 高田 秀平(法・鳥取西)

BASS

4回生 森崎 公平(文・名古屋)
 3回生 川南 亮(経・彦根東)
 2回生 藤井研二郎(経・西城陽) 花谷 周平(商・自由学園高等科)
 1回生 荒木 泰人(法・彦根東) 江川 裕和(経・春日丘) 松井 充基(文・三重県立上野)
 小淵 崇裕(法・洛南)

謝 辞

この度は、第106回同志社グリークラブ定期演奏会にご協賛を賜り厚く御礼申し上げます。
 今後とも同志社グリークラブをご支援いただきますようお願い申し上げます。
 皆様のますますのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

同志社グリークラブ

OB協賛名簿 [敬称略]

越智 常雄(昭和31年) / 野村 忠(昭和31年) / 村中 裕(昭和34年) / 森田 秀夫(昭和34年)
 林田 慎也(昭和38年) / 真野 光長(昭和38年) / 岩木 六馬(昭和39年) / 後藤 健夫(昭和39年)
 松本 慎一(昭和39年) / 山中 信與(昭和39年) / 大熊 政次(昭和40年) / 川北 純二(昭和40年)
 林 泰夫(昭和40年) / 山田 至孝(昭和40年) / 影田 武道(昭和41年) / 北村 徹男(昭和41年)
 小亀 豊(昭和41年) / 小室 泰司(昭和41年) / 栗山 昭男(昭和42年) / 山根 礪(昭和42年)
 吉田 孝昭(昭和42年) / 河村 淳(昭和51年) / 山下 裕司(昭和52年) / 松本潤一郎(昭和53年)
 森島 敏夫(昭和53年) / 中山 篤(昭和54年) / 須藤 彰治(昭和59年) / 豊田 尚紀(昭和59年)
 鉾山 琢磨(昭和59年) / 辻 透(昭和60年) / 高梨 純(昭和62年) / 栗田 陽一(平成02年)
 岸間 昭一(平成04年) / 谷本 啓(平成06年) / 正川 勲(平成20年) / 山中 彰(平成20年)
 青木 和仁(平成21年) / 嶋田 公典(平成21年) / 生駒 実(平成22年) / 小田 和司(平成22年)
 鈴木 隆介(平成22年) / 竹中悠一郎(平成22年) / 築山 和平(平成22年) ※()内は卒業年度

企業広告協賛一覧 [敬称略]

株式会社 福寿園
 株式会社 本家 田毎
 ハチ高原 角野山荘
 株式会社 大阪フォトサービス
 大平印刷株式会社
 株式会社 ふじまつ つば八三条本店
 日本教育旅行株式会社
 司屋株式会社
 ブティック More
 山城田辺自動車学校
 トー
 株式会社 まんしょう

スタッフ全員が20代の楽しいお店です。貴方も私たちと
 楽しい時間を過ごしませんか? 毎日四時から七時まで、
 生ビール298円でご提供中!! 焼酎・泡盛・梅酒など160種
 類以上取りそろえております。
 随時、ご予約お受けしております。
 お気軽にお電話ください。



のぼり
 京阪三条店

〒605-0009
 京都府京都市東山区大橋町115番地
 尚美ビル1F
 電話番号: 075-762-1110
 営業時間: PM4:00~AM5:00

日本教育旅行株式会社

これからのシーズン
 スキー・ボード旅行がお勧めです!!
 ゼミ・卒業旅行もぜひお願いします!

お問い合わせは、TEL:075-351-0405
<http://www.net-freeway.com>
whiroo@net-freeway.com
 担当:新野 博央(シンノ ヒロオ)

宇治茶と宇治茶菓子
福寿園の二つの宇治工房

王朝文化の
匠の技のもと
宇治茶文化を
ご体感ください。



京都本店
京都市四條通富小路角
TEL 075(221)2920
http://www.fukujuen-kyotohonten.com

CHA研究センター 京都府木津川市相楽台3-1-3
(関西文化学術研究都市内) TEL 0774 (73) 1200
本社・工場 京都府木津川市山城町上迫東作り道11
http://www.fukujuen.com

宇治茶工房
宇治市宇治山田10番地
(宇治川朝霧橋袂)
TEL 0774(20)1100
http://www.ujikoubou.com

宇治茶菓子工房
宇治市宇治蓮華35
(平等院表参道)
TEL 0774(28)6810

名物 田毎そば

KYOTO
御蕎麦
SINCE 1867



三條本店 三條通寺町東入 ☎ 221-3030 ●営業時間 午前11時～午後9時迄
府庁前店 京都府庁正門前 ☎ 255-7775

氷ノ山・後山・那岐山国定公園／八チ高原

角野山荘

林間学校
合宿
スキー

〒667-1100 兵庫県養父市八チ高原
TEL 079 (667) 8636 FAX 079 (667) 8522

URL: http://www4.ocn.ne.jp/~kadono

ステージが映える衣装

お一人お一人の動きに合わせてお創りする衣装。
指揮者の方、楽器の演奏等が楽しくなる服。
燕尾服・タキシード・リクルートスーツ・
ビジネススーツ、等、取り扱っております。

司屋株式会社

大阪市北区芝田1-6-8
Tel 06-6372-2420
阪急梅田駅茶屋町西出口北へすぐ

ミセス・ファッション
ブティック More

〒666-0025
兵庫県川西市栄町 25-1
アステ川西テナポ 138
tel:fax 072-755-2145

きらめく瞬間を未来に伝えたい。

あなたのきらめくその一瞬を素直にとらえる。
未来に残す素敵な記念写真をお届けするために、
いつもいっしょうけんめいのお阪フォトサービスです。



OSAKA PHOTO SERVICE
株式会社大阪フォトサービス

〒550-0023 大阪市西区千代崎2丁目20-9
TEL. 06-6581-7005 FAX. 06-6581-7033

http://www.osakaphoto.co.jp/ E-mail:sales@osakaphoto.co.jp

盲導犬の普及活動を支援する為の寄付金を含んだ印刷用紙
盲導犬支援ペーパー誕生!!

私たちは盲導犬の育成普及を支援します。
盲導犬支援ペーパーは、盲導犬の育成普及に取り組む
日本盲導犬協会への寄付金を含んだ印刷用紙です。



大平印刷の寄付金付きチャリティペーパー ラインナップ

- 世界の子どもたちへワクチン供給を支援します… ワクチンペーパー
- 盲導犬の普及活動を支援します… 盲導犬支援ペーパー
- 赤十字の活動を支援します… 赤十字ペーパー

大平印刷株式会社 チャリティペーパーのご用命・お問い合わせは 一担当：西岡まで
Tel. 075-313-7141 e-Mail: nishioka@taihei.co.jp

大平印刷は宝酒造と同じTaKaRaグループ企業です。

同志社から3分! JR同志社前駅よこに申込みあります
田辺キャンパス




山城田辺自動車学校

京都府
公安委員会
指定

0120-398046 http://www.8046.com

学生コンパ・忘年会・新年会には!



と いち
ト ー

定休日・毎週月曜日 京都市中京区富小路四條上ル
営業時間・11:30~14:30 TEL.075-223-0338
16:30~22:30 FAX.075-255-2779

宴会5名様より百名様まで承ります
コース2,415円より ご予算に応じ相談させていただきます

「私達は、居酒屋のおいしさを追求し、
居酒屋の楽しさを大切にし、
元気を提供します。」

京都市中京区丸太町通西洞院北東角
(府庁前交差点スグ)
PM 5:00~AM 2:00 (L.O. AM 1:30)
TEL: 075-255-4415



居酒屋 萬正

同志社グリークラブ 依頼演奏募集!

同志社グリークラブは随時依頼演奏を
募集しています。
結婚式・興添え・録音・演奏会など、
様々なご要望にお答えいたします!

ご連絡はホームページ
(http://gleeclub.jp/) よりお願いいたします。